

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	小城市立三日月小学校			
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標「ともに なかよく かしこく たくましく～元気！笑顔！三日月サイコー！～」を、教師も児童もたえず意識して、それぞれの教育活動を行うことができた。 ・いじめについては、「心のアンケート」や「教育相談週間」等を有効に活用し積極的に認知を行った結果、前年度、いじめの件数は多かったが、小さな芽を摘んだことで大きな事案に発展することはなかった。今年度も、いじめの早期発見・早期対応に努めていきたい。 ・学力向上については、校内研究をととして全職員が同じ意識をもち取り組むことができた。しかし、県調査からは課題も見えた。今年度は、前年度の課題をもとに、さらなる授業改善を行っていく。 ・新校時表の導入や教科担任制、交換授業を起爆剤として、教職員の働き方改革と、質の高い教育活動を推進する。 			
2 学校教育目標	とともに なかよく かしこく たくましく ～元気！笑顔！三日月サイコー！【ともに誇れる学校】～			
3 本年度の重点目標	① 安心・安全な教育に取り組むための環境づくりに取り組む ② 確かな学力、豊かな心を育むための指導法・指導体制の充実を図る ③ 特別支援教育の視点をベースにした個への支援と集団支援を融合させる ④ 新校時表導入による質の高い教育活動と教職員の業務改善を推進する ⑤ 学校教育目標、学年・学級目標の一貫性を形成させ、学年グループによる協働体制を推進する			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○授業についてのアンケートで、「わかる」が80%以上	・三日月スタンダードに基づく、全学年で共通した基本的学習習慣と家庭学習を推進する。 ・教科担任制(英語・理科)、学級間の交換授業等を取り入れ、教師の専門性を生かした指導を推進する。 ・学校生活の中で、根拠をもとに話し合う活動を積極的に設定する。 ・互いの授業を自由に見に行くことができる校内参観ウィークを設定し、授業力の向上を図る。	学力向上対策コーディネーター 研究主任
●健康・体づくり	○電子黒板や一人1台端末の効果的な活用	○電子黒板やタブレット端末の効果的な活用方法等について職員で情報共有を行う場を年間12回以上設ける。	・学年の実態に応じた効果的な実践を通して児童の主体的な学びを推進する。 ・各学級等で実践した内容については校内において紹介あつたり共有をしたりして、積極的に活用していく。	情報教育担当
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートで、思いやりの項目の肯定的評価が90%以上	・「進んであいさつで心ひらき」「はきものそろえで心そろえ」「掃除・後片付けで心みがき」を年間の重点項目として取り組む。	道徳教育推進教師 道徳担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○心のアンケートで「学校が楽しい」と回答する児童を90%以上	・Q-Uの結果を踏まえて、学級や個人の現状把握と課題の分析に努め状況に応じた手立てをとる。 ・事案に対する「即報告即日対応」	生徒指導担当 教育相談担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○学校教育目標が言える児童80% ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・学校教育目標を、教師も児童もたえず意識して、それぞれの教育活動を行う。 ・善行児童に対しては、きちんと褒めることを全職員で取り組む。 ・総合的な学習の授業でキャリア教育を取り入れた学習に取り組む。(4, 5, 6年)	総合担当 4, 5, 6年担任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。	・育友会と連携し、ネットルールの啓発を行う。 ・新給食センター移行に向けて保護者に情報提供を行い、安全・安心な給食の提供に努める。 ・感染症、事故、自然災害について、情報提供や訓練等を計画的に行う。	生徒指導担当 保健指導担当 食育指導担当
			・教職員の毎月の勤務時間を把握する。定時退勤日を実施する。 ・新校時表の導入、成績2期制より、課後の時間を確保し、教職員の心身の安定に努める。	教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
○特別支援教育	○個別に支援が必要な児童に対する支援方法の検討、実施、評価	○個に応じた支援を心がけた教員が90%以上	・全職員で対象児童の情報を整理、共有し、支援方法の検討を行う。 ・個別の支援を基盤とした通常学級での支援方法を校内で研修し、共通実践化を図る。 ・児童の将来の自立に向けて、保護者や関係機関と連携し、より良い進路支援を行う。	特別支援教育コーディネーター
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				